

1.所長より挨拶

2.参加者自己紹介

藤沢市民生委員 様
利用者家族 様
利用者 様
施設管理者
施設職員 6名

3.会議の目的についての確認

地域連携推進会議は、施設等と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体である。

参考資料をもとに以下4項目の説明を行う。

- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の人への施設棟や利用者に関する理解の促進
- ・施設等やサービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護

4.事業の概要説明

2024年度事業報告書、2025年度事業計画書の内容について報告を行う。

5.日常生活の様子やホームの課題について

・施設職員より報告

- ・プラタナス高倉が開所し3年が経過した。開所当初はどうすればいいのか？悩むこともあった。利用者の方々も不慣れなこともあり不安定になられてしまうこともあった。年月が経つにつれて落ち着かれたと感じる。また共に生活するにあたり利用者さんとの関係性も構築され嬉しく思う。
- ・プラタナスに着任して1年。着任当初は利用者さんの特性など把握できておらず利用者さんを困惑させてしまうこともあった。日が経つにつれ少しずつではあるが関係性が構築されたと実感している。支援を行う中での情報共有をしっかりと行いよりよい支援を提供したい。
- ・プラタナスに着任して2か月弱。まだ分からないことやご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思うが利用者さんの障がい特性を把握し、関係性を深めていき利用者さんが安心して生活が送れる支援を提供をしたい。
- ・分からないことや判断の難しい時は常勤職員がアドバイスをしてくれるので助かる。
- ・ミスしてしまうことや言葉、文字の難しさなどもあるが勉強をして向上していきたい。
- ・分からないことは常勤職員に報告、相談をして支援の向上に努めていきたい。

6. 質疑応答

・民生委員様

〇〇さん(利用者様)ホームでの生活はどうか？

・利用者様

楽しいです。

・ご家族様

プラタナスはみなさん個性があってとても暖かい。太鼓判です。プラタナスはちょっとした変化でもすぐに対応してくれる。他のホームでは難しいと思う。息子もこの3年ですごく成長したと感じている。

・所長

ご家族の協力があってこそと大変感謝している。これまで福祉施設にかかわる悲しい事件などがあつたなかで、外部の目を入れることで、地域との連携を図ることができ、地域の方々にも障がいを理解してもらうことができると考えている。施設開所時はこれまで在宅で暮らしていた利用者様が、慣れないホームでの生活を始めたことでパニックになって夜間外に出てしまい、近隣の方から県や警察に通報されてしまったこともあり、ご迷惑をかけてしまった。いまではご利用者みなさんがホームの生活に慣れて定着されたことがとても嬉しいと感じている。

・民生委員様

今日は色々な話を聞け「あたたかいホーム」だということを感じた。民生委員の集まりでも今日の話しを伝えたいと思う。

・所長

昨年今年と法人内の施設で窒息による事故が続けておきてしまった。利用者の命を預かるホームとしても AED の訓練を毎年行っていきたくと考えている。

・民生委員様

AED は必要。民生委員でも毎年訓練をしている。

・所長

消防隊員が到着するまで蘇生が続けられるようにしたい。できれば人員が常時2~3人いればと思っているが配置上難しいこともある。消防署に来てもらって訓練をしたいと考えているが、受講者が10人以上いないと来てもらえない。近隣の施設などに声をかけ合同で訓練ができればと考えている。

・ご家族様

まわりの方々に迷惑をかけてしまうかもしれないが、親子で地域の掃除などができたらいいなと思っている。また町内会でのイベントなどにも参加したい。

・民生委員様

ホームの近くにある神社では毎月第1日曜日に神社の掃除をしている。神社の中はだれが入っても構わない。顔見知りになって何かあったら助け合えるようになれば良いと思う。

6. 施設内見学

約2時間の報告、質疑応答、見学等を行い終了となった。